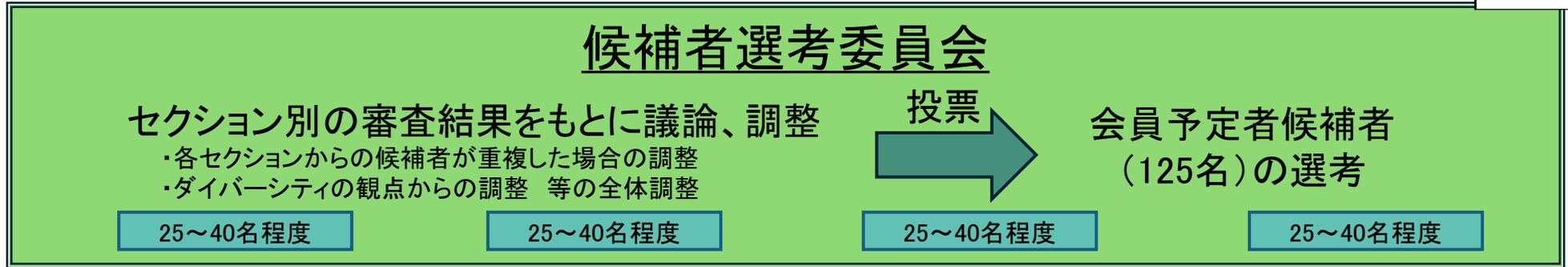
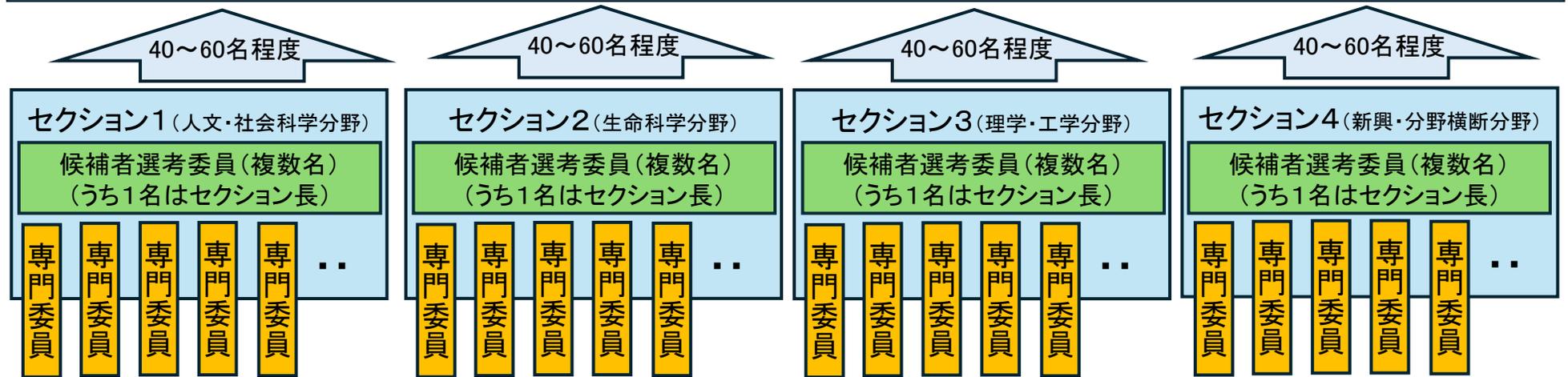


候補者選考委員会
における選考



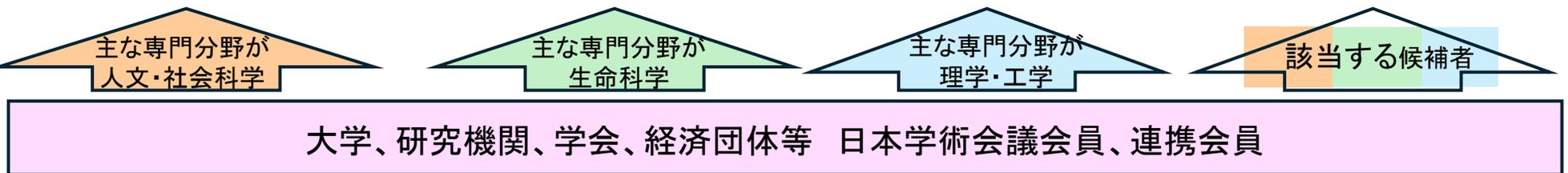
セクション別の審査、
名簿の作成(投票)



業績審査



候補者推薦



※被推薦者に加え、R8.9に任期末を迎える補欠会員、現連携会員のうち会員就任意思のある者を業績審査の対象とする。
 ※専門分野が複数ある場合、各セクションに割り振られる候補者が重複する場合もある。

(別紙) セクション4 (新興・分野横断分野) における選考の観点

「優れた研究又は業績のある科学者」であることに加え、以下のいずれかの観点等も含む、候補者として最も適切な者を選考する。

○新規の学問分野の開拓につながる先端的な研究を行い、高い業績があるか

○従来の学問分野にとらわれない学際的・総合的な研究を行い、高い業績があるか

(例：環境・エネルギー、防災・減災、健康危機管理、循環型経済、カーボンニュートラル、サステナビリティ、デジタル・AI等に関する研究)

○学術に関する知見を活用して社会の課題の解決に寄与するという観点から、社会実装や科学の普及啓発等の研究成果の活用に関する活動に取り組み、高い業績があるか

○日本学術会議が加入する分野横断的な国際学術団体に重要な役割を担う等、国際的な研究活動に高い業績があるか

○大学、研究機関、学協会などで重要な役割を担う等、組織の運営に高い業績があるか

○産業界、医療界、法曹界、教育界といった実務の現場で優れた研究を行い、高い業績があるか

○行政、産業界等との連携による活動に取り組み、社会的インパクトのある高い業績があるか

なお、他のセクションと同様、ダイバーシティを考慮する。